



ジョイフル

VOL.10
2020.5.25 発行



犬山営業所 所長代理

ふなだ しげと
舟田 茂人

——犬山営業所はどのような職場ですか。

営業所には35人ほどのスタッフが在籍しています。職場の仲間同士だけではなく、お客様に対してコミュニケーションが取れている職場だと感じています。

人間同士ですからもちろん相性はあるでしょうが、誰とでも誠実に向き合っていくことが大切だと思っておりますので、私から積極的に声をかけるよう意識しています。

——「誰とでも誠実に向き合う」というのは、何かきっかけがあったのでしょうか。

昔は年功序列で「先輩が優先的に仕事を選び、それ以外は後輩の仕事」と、はっきり分かれていました。私もドライバー時代、「その仕事は後輩にやらせればいいだろう

います。

そのためにも、従業員が一致団結してより良い仕事ができるような営業所にしていきたいと思っています。

居心地のよい雰囲気であったり、ドライバー同士が仲間意識を持てるような環境であれば、離職率も減るのではないのでしょうか。先輩が後輩の面倒を見てあげたり、誰かが休めばお互いの仕事をカバーしあったり、「円満な人間関係を築いていける職場であってほしい」と願っています。

舟田さんはドライバーとしての経験があるからこそ、それぞれの立場で働く従業員の気持ちを理解し、明るい職場づくりへ取り組みುತ್ತしています。今後も犬山営業所にとって必要不可欠な存在として、その成長を支えていくことでしょうか。

運転が好きで「長距離運転も全く苦にならない」という舟田茂人さんは、長年にわたりドライバーとして勤務してきました。現在、犬山営業所の所長代理として働きやすい環境づくりを目指す舟田さんに、ドライバー時代の思い出や職員となってから大切にしていることなどを伺いました。

——これまでの経緯と、現在のお仕事について教えてください。

1992年(平成4年)に入社しました。長年ドライバーとして務め、今は営業所で勤務しています。これまでさまざまな業務に携わった経験から「犬山営業所の仕事を一番よく把握している」ということで、現在の役職に任命いただきました。業務管理が主な仕事である一方、仕事量の多いときは配送に出ることもあります。

今は以前のような遠出をするのではなく運転してもルート配送なので、ちょっと寂しい気持ちですね。

——最後に、今後の目標について教えてください。

営業所の売り上げを伸ばすことが目標の一つですが、まずは事故を無くす事が第一だと思つて



い」という出来事がありました。当時は私も若かったため、大型トラックに乗って気持ちも大きくなってしまったのでしよう。大事に至らなかつたのが不幸中の幸いでした。それ以来、常に気を引き締めて運転しています。

——この仕事で「楽しい」と感じる部分はあるのでしょうか。

ドライバー時代は全国のさまざまな土地へ配送に行かせてもらい、ドライブ気分を味わいながら運転を楽しんでいました。配送先のご当地グルメや、その土地の景観にワクワクしたものです。田舎へ行けば行くほど、配送先の方々がとても優しくかったのも印象的でした。桃を一箱くれたり、美味しいお店を教えてください、お客様とのコミュニケーションに心が和みました。

——仕事をやる上で気をつけていることはありますか。

「ドライバーの気持ちも理解できます。そこから立場が変わり」ああ、職員はこういう気持ちで仕事をしたのか」と、初めて気づきました。

交通事故を起こしてしまうと会社にも大きな責任が発生するため、普段から嚴重に注意しています。これまで無事故無違反を維持していますが、一度だけ「一歩間違えれば大きな事故になりかねな